

平成 30 年 4 月 27 日

那覇市議会議長

翁長 俊英 様

議員名 前泊 美紀



平成 29 年度政務活動費収支報告について

那覇市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成 29 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

平成 29 年 4 月分 ～ 平成 30 年 3 月分

平成 29 年度政務活動費収支報告書

議員名 前泊 美紀

1 収 入

政務活動費 1,080,000

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	97,200	
研 修 費		
広 報 費	15,000	
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	186,217	
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	298,417	

3 残 額 781,583 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

議員名： 前泊 美紀

項目	整理 番号	事項	年 月 日	充当額 (円)	備考
研修費	/	第2期地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会参加費	29 7 27	97,200	日本生産性本部
広報費	/	印刷代	29 4 22	15,000	3/4 按分
資料購入費	1	沖縄建設新聞(2017/4/1~2018/3/31)	29 4 7	32,400	
	2	日経グローバル年間購読料(2017/11~2018/10)	29 12 12	90,720	
(書籍代)	1	全国市民オンブズマン連絡会議	29 9 19	7,000	
	2	まちづくりの法律がわかる本、都市計画とまちづくりがわかる本、いちからわかる知識&雑学シリーズ都市計画のキホン(3冊)	30 2 3	7,452	
	3	公会計が自治体を変える(3冊)	30 2 3	7,776	
	4	新日本法規出版(追録号数52)	29 6 13	4,452	
	5	” (追録号数61, 15, 16)	8 8	8,761	
	6	” (追録号数62)	9 15	3,488	
	7	” (追録号数63)	9 29	3,652	
	8	” (追録号数4, 5, 63)	12 21	9,088	
	9	” (追録号数17, 18)	1 29	6,443	
	10	” (追録号数54, 55)	3 28	4,985	
合 計				298,417	

研修費

研 修 費

平成 29 年度

議員名

前泊 美紀

整理番号

[]

【項目】

調査研究費

研修費

広報費

広聴費

要請・陳情活動費

会議費

資料作成費

資料購入費

人件費

事務所費



印紙税法第5条
により収入印紙
は貼付いたしま
せん。

領 収 書

No.



那覇市議会 殿
前泊 美紀

¥ 97,200.-

ただし 第二期地方議会における政策マテリアルと
評価マテリアル研究会 参加費

上記金額正に領収いたしました

2017年 7月07日

東京都渋谷区渋谷 3丁目1番1号

公益財団法人 **日本生産性本部**

電話 03(3409)1113



添付書類参照

1 枚

充当額

97,200 円

地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会・第二期

主催：公益財団法人 日本生産性本部
共催：早稲田大学マニフェスト研究所

顧問：北川正恭 早稲田大学名誉教授
座長：江藤俊昭 山梨学院大学教授

参加議会：会津若松市議会、飯田市議会、大津市議会、可児市議会、陸前高田市議会、船橋市議会、
甲府市議会、那覇市議会、

「日本のモデルをつくろう！」を合言葉に、議会活動と地域経営とが連動する「地方議会における政策サイクルと評価モデル」の構築を目指す研究会。住民福祉の向上を目指して本質的かつ先進的な改革を進める議会、ならびにそのような改革を進めようという意欲を持つ議会の議員、議会事務局職員で構成する。

研究会第一期（平成 28 年度）では、「議会からの政策サイクル」の展開と課題について、理解を深めた。

研究会第二期（平成 29 年度）では、議会改革の到達点を確認する手立てとなる議会評価について取り上げ、議会評価における考え方や枠組み、実践に活用するための基準モデルの設定を目指し、議論を重ねた。

実施期間：平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月

研究会成果報告等：

地方議会議員フォーラム 2018 4 月 21 日（土）13：00～17：00 全国町村会館にて
報告書「議会からの政策サイクルとその評価のガイドライン」（仮）平成 30 年 7 月完成予定

【第 1 回会合】

平成 29 年 7 月 21 日（金）13：30～17：30 日本橋コレド 5 階（東京都中央区）

議会評価の領域と概念について理解を深める。議会評価の基準モデル策定に向けての論点を整理する。

「事後評価をどこに入れ込むか」について、政策サイクルを機能させている会津若松市議会から、「政策サイクルを回せていれば、どこに評価を入れるか自ず」との発言があり、説得力があった。

「誰が何をどう評価するか」。難しいテーマだが、先進議会から学び議論を重ねながら理解していきたい。



【第2回会合】

平成29年8月27日（日）13:30～17:30 日本生産性本部9階（東京都渋谷区）

今年度は評価モデルについて重点的に整理し、作成する。

今回会合の到達目標は、会津若松市議会の実施している議会評価について一般化できるプロセス、評価の物差しを整理する。飯田市における議会からの政策サイクルを作動させる上での総合計画とのかかわり方について論点を整理する。

政策サイクルを十分に機能させ、「評価」が見えてきたという会津若松市議会と、飯田市議会の総合計画策定審議及び進行管理についての報告を受け、「細かな事業評価より総合計画に照らし重点施策や重点事業を評価する」「事業を、審査する委員会に振り分ける際、行政の縦割り組織にそのまま当てはめると、評価の目的を達することができないことがあるので、目的に合わせた組織編成の検討や、連合審査会を開く方法もある」など、多様に議論した。

那覇市議会は、第5次那覇市総合計画が今年12月定例会に上程される予定で、その際の審議に向けて調査中だが、改選を経てその制度設計を改めて議論することが急務と感じた。合わせて、計画の進捗管理の仕組み作りも検討をはじめたい。



【第3回会合】

平成29年10月13日（金）13:30～17:30 日本橋コレド5階

議会の政策サイクルについての「はじめの一步」について論点を整理し、政策サイクルの議論をまとめる。

地域の価値は議会が創る。

地方自治法の一部改正で話題の議選監査について、議会議論にどう活かすか。縦割りの行政組織に縛られず議会を機能させる委員会編成のあり方は、そのようなものになるのか。研究議題周辺の議会に関する情報も学び、議論した。今後の研究会の方向性も確認した。



【第4回会合】

平成29年11月24日（金）13:30～17:30 日本橋コレド5階

会津若松市議会の手引書(議会白書)や福島町議会白書を確認しながら、議会評価について考える。

政策サイクルの多様な特徴は確認できた。何を誰がどう評価するのか。まずは、政策サイクルを要素に分解して統合してみる。評価は信頼度の見える化。

政策サイクルや評価モデルをどこの議会でも活用できるようにするために、引き続き「はじめの一步」をどう踏み出すかについての意見交換をした。

奥が深く議論が入り込んでしまうが、微かに少しずつ評価モデル像が見えてきたような気がする。



【第5回会合】

平成30年1月26日（金）13：30～17：30 日本橋コレド5階

議会評価の枠組みとその「はじめの一步」について意見交換し、論点整理を試みた。

政策サイクルと議会評価のガイドライン作成を目指しているが、評価モデルはどうあるべきか。

政策サイクルはまわせているか、住民福祉の向上につながったか。アウトカム（質的評価）としての「評価」への関心は皆高いものの、それを議会の取り組みによる成果と断定して評価することは、様々な要素が絡み測定不能なこともあり、かなり難しい。

また、政策サイクルをまわすための「はじめの一步」をどう踏み出すか。その具体的な例示をどのようにするか。

2年間の研究会の成果をまとめる大詰めの作業だが、まだまだ議論は尽きない。



【第6回会合】

平成30年2月13日（火）13：30～17：30 日本橋コレド5階（東京都中央区）

※ 那覇市議会2月定例会開会日のため欠席。後日資料を送付してもらった。

達成目標：1. 前回に続き、議会評価の枠組みをまとめる

2. 各議会における議会評価の今後の取り組みについて検討する

□ 地方議会議員フォーラム2018 議会改革の第二ステージ～議会評価を考える～

4月21日（土）13：00～17：00 全国町村会館にて

「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」の2年間にわたる成果を報告した。

以前は、議員個人の動きだった議会改革が、議会が全体をマネジメントする流れに。

時代が変わってきた体感を共有し、地方から日本を変えよう。

北川正恭早稲田大学名誉教授の基調講演、江藤俊昭山梨学院大学教授の問題提起に続き、先進議会の会津若松市議会、可児市議会、大津市議会が発表。後半は、研究会メンバー等をパネリストに、「政策サイクルの展開と議会評価のはじめの一步」「先進議会のこれから」についてディスカッションした。

私は、「はじめの一步」を踏み出した発展途上の那覇市議会として登壇し、那覇市議会のこれまでの取り組みと今後の課題について発言した。

フォーラムには80人弱が参加。私たち関係者を合わせると100人程の熱気が、議会改革の輪を押し広げていくことを期待したい。



以上

地方議会議員フォーラム2018

議会改革の第二ステージ

～議会評価を考える～

1. 日 時： 2018年 4月21日(土) 13:00～17:00

2. 会 場： 全国町村会館 2F ホール

3. プログラム：

13:00～13:25 【基調講演】

「次世代地方議会のあり方」

早稲田大学名誉教授・早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭 氏

13:25～13:50 【問題提起】

「議会から政策サイクルとその評価」

山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

13:50～14:50 【事例紹介】 「議会における評価の実際」

(進行：山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏)

「議会からの政策形成サイクルとその評価のガイドライン」

会津若松市議会 議会運営委員会委員長 松崎 新 氏

「議会の力が地域の未来を創る」

可児市議会 議長 川上 文浩 氏

「“大津市議会ミッションロードマップ”による政策サイクルと評価モデル」

大津市議会局 次長 清水 克士 氏

14:50～15:00 【休 憩】

【パネル討議】 「議会改革の進化に向けて」

15:00～15:50 テーマ1 「政策サイクルの展開と議会評価のはじめの一步」

(パネリスト)地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会メンバー

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

(進行) 山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

15:50～16:00 【休 憩】

16:00～16:50 テーマ2 「先進議会のこれから」

(パネリスト)地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会メンバー

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局 中村 健 氏

山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

(進行)株式会社ぎょうせい 月刊『ガバナンス』編集長 千葉 茂明 氏

16:50～17:00 【本日の総括】 「議会改革の第二ステージにおける課題と展望」



平成 29 年 7 月

第二期「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会

公益財団法人 日本生産性本部
早稲田大学マニフェスト研究所

『日本のモデルをつくろう！』

「日本のモデルをつくろう！」を合言葉に 2016 年 5 月から「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会は始まりました。

研究会第一期では、運営という形式の変更に甘んじていた議会改革をさらに進化させ、住民福祉の向上に結合させるために重要となる「議会からの政策サイクル」の展開と課題について議論を重ね、理解を深めて参りました。

議会からの政策サイクルを回さない限り、定例会で議会はブツブツと切られます。その結果、議会は追認機関にならざるを得ず、住民福祉の向上にはつながりません。議会が追認機関から脱皮し、住民福祉の向上を目指していくためには、議会からの政策サイクルを構築して連続した議会運営を行うことが求められます。このことは 3 月に開催された「地方議会議員フォーラム 2017」においてご報告させていただきました。

研究会第二期では、議会改革の到達点を確認する手立てとなる議会評価について取り上げて参ります。議会評価における考え方や枠組み、実践に活用するための基準モデルの設定を目指す予定です。

本研究会では、住民福祉の向上を目指した本質的な議会改革を進めている議会、また本質的な改革を進めようとする取り組みを始めた議会、これから本質的な改革に取り組んでいこうという意欲を持った議会の議員の方々、議会事務局の方々のご参画をお待ちしております。

■研究会の内容

目 的

本研究会の目的は、議会改革を運営という断片的な形式要件の整備・変更に甘んじることなく、連続性を持たせて住民福祉の向上や住民自治の推進につなげていくことです。議会改革の到達点を明確にして更なる改革につなげ、議会活動と地域経営との連動を目指します。

第二期研究会では、到達点を確認するための議会評価について先行研究をベースにし
ながら、議会評価の考え方や枠組み、実践に活用するための類型化した基準モデルの設
定を行う予定です。

研究会で取り扱う領域・項目

- ・住民福祉の向上につなげる議会からの政策サイクル
- ・議会評価の枠組みと類型化
- ・議会評価のための指標など

研究会の運営

- ・2017（平成29）年7月から2018（平成30）年3月までの活動期間に全7回の研究会を開催します。
- ・研究会の顧問には早稲田大学名誉教授の北川正恭氏を、座長には山梨学院大学教授の江藤俊昭氏をお迎えし、ご参加いただき皆様に研究会を構成します。
- ・研究会は1回につき、13：30～17：30での開催を基本とします。
- ・評価モデルの策定にあたっては、モデルとなる議会を複数取り上げケーススタディを行います。対話による意見交換を通して類型化したモデル策定を行う予定です。
- ・評価モデルの策定にあたっては先進議会による報告、または視察も予定しています。（候補：飯田市議会、会津若松市議会、可児市議会、大津市議会等）
- ・研究会の成果は2018年3月下旬に実施する第7回研究会（議員フォーラムを兼ねる）にてご報告いたします。

成果物

- ・議会評価のための類型化した基準モデルの策定
- ・議会運営の評価、議会からの政策サイクルを評価するための指標と評価基準
- ・上記をまとめた報告書（政策サイクルと議会評価のガイドライン）、書籍の刊行
- ・研究会の成果は「議員フォーラム2018」にて報告の予定です。
- ・成果物は、議会改革の第二ステージの普及・展開のためのツールとして活用

■開催概要

実施期間： 2017年7月 ～ 2018年3月

スケジュール：

回数	日 時	内 容 (予定)
第1回	7月21日(金) 13:30～17:30	議会評価研究会のこれまでの動きのレビュー 参加メンバー同士の意見交換(問題意識の共有) 論点整理(議会評価について)
第2回	8月下旬予定 13:30～17:30	基準モデルのケーススタディⅠ
第3回	10月下旬予定 9:30～15:30	【視察】 基準モデルのケーススタディⅡ
第4回	11月下旬予定 13:30～17:30	試行結果のフィードバック これまでの議論の整理
第5回	2018年1月下旬予定 13:30～17:30	研究会取りまとめ
第6回	2月中旬～下旬予定 13:30～17:30	研究会取りまとめ
第7回	3月下旬予定 13:00～17:00	地方議会議員フォーラム2018において成果報告

■事務局

〒150-8037 東京都渋谷区渋谷3-1-1

公益財団法人 日本生産性本部 地方創生・自治体経営支援センター

担当：鎌田・本間

TEL 03-3409-1118 FAX 03-5485-7750 E-mail: T.Kamata@jpc-net.jp

広報費

廣 報 誌

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

前泊美紀

様

No. _____

★ 20,000-

内 訳 _____
 現 金 _____
 小切手 /
 手 形 /
 消費税額等 (%) _____

但 広報印刷代

27 年 4 月 27 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

沖縄県那覇市泉崎2丁目23番18号

楚 辺 印

代表者 赤嶺 加代

TEL (098) 833-4477 FAX 833-5151

コクヨ ウケ-08

↑ (100枚作成)

按分率 75%

1 枚

充当額

15,000 円

第5次那覇市総合計画の策定作業始まる

市議会が策定条例を修正



【総合計画】

まちづくりの基本的な方向性を定めた長期計画(那覇市では10年間)で、自治体の最上位計画。

市が進める政策やその他の計画は、この総合計画を踏まえて作られる。

現在は第4次総合計画に基づく市政運営が行われており、その期間が平成29年度に終了することから、平成28年度より第5次総合計画の策定に着手。第4次総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造になっている。

那覇市は、平成30年度を初年度とする第5次総合計画を策定中で、平成29年12月の定例議会に計画案を上程する予定です。市議会では、議会基本条例(第14号第1号)で総合計画を議決事件として加え、市議会として総合計画の策定に責任を持ってかかわることを決めました。

那覇市の未来を描く重要な計画であり、市民との協働が不可欠であることから、私ども無所属の会は度々議会で取り上げ、市民協働と第4次総合計画の検証・見直し、計画期間の中間で見直し・改訂を行うこと等を提言してきました。また、私の所属する総務常任委員会では、先進的な取り組みをしている岐阜県多治見市を視察し、議会の関わり方や行政の積極的な市民参加の取り組みを学び、那覇市議会として初めての総合計画審議に活かしています。

そのような中、平成28年6月定例会において市から、総合計画策定の根拠となる那覇市総合計画策定条例案が提出されました。条例案では、全国でも珍しく前文が付され、計画と条例の重要性を体現する画期的な要素もありましたが、市民協働に関する条文が明記されていませんでした。「市の最上位計画は市民と協働でつくることが将来にわたり保障されるよう、条例に明記することが望ましい」との考えから、「市民意見の反映」の条文を追加することを提案、全会一致で可決し、議会として条例を修正しました。

平成29年2月には、なは市民協働大学院の皆さんが10か月かけて仕上げた「市民提案」が発表され(写真右下)、4月現在は、市が議会へ提出した第4次総合計画の検証結果を審査し、議会として市長へ提言を行いました。

議会では12月まで、改選をはさみながらも議会全体で第5次総合計画の策定を審査し、積極的に市民の意見を取り入れて、提言していく方針です。市民の皆さまの声をぜひ議会へお寄せください！！

那覇市民会館が休館 気になる昭和遺産の今後

1970年に生まれ復帰前夜から沖縄を見守る那覇市民会館が、老朽化のため閉館することになりました。市民会館は、文化の殿堂として市民から愛されてきただけでなく、沖縄の風土を色濃く反映した名建築として、近代建築の保存・記録に取り組む国際組織 DOCOMOMO の日本支部から「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」として選定されています。久茂地に新市民会館建設の計画が進み、現市民会館跡地に真和志支所移転や複合施設をとの声もある中、市は建物の調査を終え、今後のあり方について検討することになっています。



平成28年4月臨時会

【総括質疑】

文化財課の不適正な事務処理

平成28年6月定例会

【一般質問】

1. 平成27年度包括外部監査報告書「公有財産に係る財務事務の執行及び管理について」での「公有財産に関する内部統制全般の見直しが必要」との指摘について
2. ひとり親家庭の利便性の向上と家計の安定を図る観点から児童扶養手当の毎月払いを求めることについて
3. レインボー行政について①本市の「国際ゲイ&レズビアン旅行協会(IGLTA)」加盟への提言と見解②学校現場での性の多様性に関する職員研修等の取り組み
4. 「那覇市観光危機管理計画」策定の進捗
5. 「人にやさしい道づくり」①亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業②那覇市交通基本計画の観点から③オープンデータ、ビッグデータの活用

【議案に対する質疑】

1. 那覇市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定(「100分の10を1カ月減額」)について
2. 那覇市総合計画策定条例制定について※修正を提案→全会一致可決

【反対討論】

文化財課における不適正な事務処理事業の責任としての市長副市長給料減額は、調査の全容が明らかにして判断すべきで時期尚早

平成28年9月定例会

【代表質問】

1. 市長の政治姿勢①就任2年公約への取り組みと財源確保②市長の犯罪被害者支援についての見解
2. 子どもの貧困①児童館、公民館等の数増公共施設の活用②「子ども子育て世代包括支援センター」設置
3. 第5次総合計画①策定進捗となは市民協働大学院での状況②同策定条例に議会が修正追加した「市民意見

の反映」をどう活かしているか等

4. 那覇市民会館の耐震診断調査結果と今後の方針

【一般質問】

1. 離婚後の子どもの養育支援①養育費の取り決め②面会交流支援
2. 犯罪被害者支援の現状と課題
3. ファシリティマネジメント推進の進捗
4. 平成27年度包括外部監査の結果に基づき講じた措置の概要

【総括質疑】

観光都市なは受入環境整備基礎調査事業について

平成27年度決算審査：総括質疑なし

平成28年12月定例会

【一般質問】

1. 性的マイノリティに配慮したトイレ設置について
2. クルーズ船第2バース整備と経済活性化①港まちづくりマスタープランの見直し②新港埠頭地区商業集積エリアの交通環境整備③「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画」への応募について
3. 「なは市民活動支援センター」の利活用の現状と指定管理者制度への移行を含めた今後のあり方
4. 待機児童対策①「とちよう保育園」開所を受け、官公庁への保育園の設置と事業所内保育および企業内保育所設置への見解②保育士確保と処遇改善(就職一時金・保育士宿舍借上げ補助制度)

平成29年2月定例会

【代表質問】

1. 市長の政治姿勢①平成29年度施政方針における協働によるまちづくりの考え方②なは市民協働プラザの入居センター連携③NPO支援
2. 第5次那覇市総合計画への市民提案について
3. 新市民会館建設について、実施計画予算計上も未だ市民から「久茂地小学校跡地でよいのか」疑問の声がある中で現状

【一般質問】

1. 「立地適正化計画」策定について
2. 公共工事の設計変更
3. 終末期医療と在宅介護、看取りのあり方について、市の現状と課題、定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの検討
4. 子育て支援①「保育の質向上」②ひとり親家庭の高等学校卒業程度認定試験合格支援の実施

【議案に対する質疑】

1. 那覇市地域振興基金の概要と運用状況、廃止する理由
2. 「那覇市協働によるまちづくり推進基金積立金」の運用状況
3. 平成29年度市一般会計予算案から①市内中小企業経営実態調査事業②『なはし経済産業振興ニュース(仮)』発行事業③なはし創業・就職スタートアップサロン(仮)運営事業
4. 下水道「ストックマネジメント計画」策定について

■見えてくる！？那覇市の目指すまちづくり

立地適正化計画は、人口減少・高齢化が進む中、居住機能福祉・医療・商業等の都市機能の誘導により、持続可能な都市構造の形成を目指すもので、いわば「まちづくりの目鼻立ち」をはっきりさせるような計画です。那覇市の方向性については、「震災からの復興と急激な都市化により形成された平和通り周辺や真和志地域などの密集市街地の改善及びモノレール駅周辺、公共交通結節点など拠点施設を結ぶ地域公共交通ネットワークの充実が課題」と議会答弁していることから、公共交通を軸とした計画になることが推測されます。平成29年度から3年間の都市マスタープラン改訂と並行して立地適正化計画も策定される予定で、総合計画とあわせると、ソフト・ハード両面から、那覇市のまちづくりが見えてきそうです。

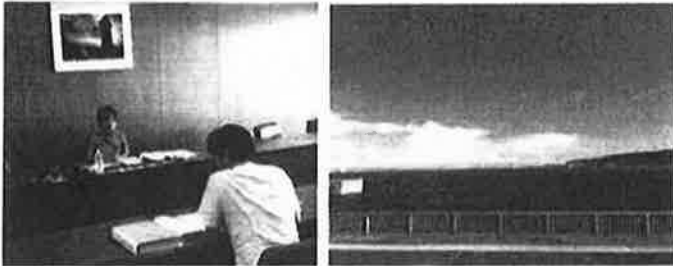
平成 28 年度視察報告 各地の学びを市政へ活かす政務活動等調査

兵庫県明石市でアカシノミクスを学ぶ

子育て支援など、泉房穂市長の画期的な取り組みが注目を集めている明石市を、8月25日に調査視察。

■ 調査項目は、

1. ひとり親家庭支援
 - ・ 養育費等の取り決めや面会交流支援等の「親子交流サポート事業」
 - ・ 離婚前講座などの「離婚後のこども養育支援」
 - ・ 那覇市議会にも陳情があり私も取り上げている「児童扶養手当の毎月支給について」
2. 犯罪被害者支援(条例、経済的支援等)
3. 財政健全化の取り組み：同推進計画や市民との会議、議会との協議、市長の重点施策との関係など



明石市役所にて

役所裏から明石海峡大橋を望む

□ 当事者の声を反映した、犯罪被害に対する損害賠償の立替支援制度の創設や、導入を検討しているという養育費立替払制度など、市民に寄り添った先進的な取り組みが、特に画期的だった。

犯罪被害者支援条例の制定は、一期目から働きかけているが、遅々として進んでいない。議員提案で制定するのも一案。

明石市の取り組みは、どれも「予算をかけずどこの自治体でもできる施策を」というユニバーサルなもの。きっと那覇市でも活かせるものが多いはず。

明石市は平成 30 年度に中核市移行予定で、人口 29 万人余り、面積は約 50 km²と、那覇市と類似することから、これからも注目していきたい。

その他の視察・研修など

- 「オープンデータとこれからの公民連携」
(5月25日ヴェルクよこすか LM 地議連神奈川勉強会)
- 「第 8 回全国自治体議会改革推進シンポジウム～議会基本条例が開く議会の未来」(11月9日四日市都ホテル)
- 「第 40 回都市計画セミナー：立地適正化計画の更なる展開による持続可能なまちづくり II」
(1月24・25日早稲田大学国際会議場井深大ホール)
- 市民と議員の条例づくり交流会「新公会計制度と議会の予算・決算審査」(3月26日法政大学市ヶ谷キャンパス)
- 会津若松市議会市民との意見交換会／東村山市議会

とちょう保育園が開所



東京都議会議事堂



多目的ホール

平成 28 年 10 月 1 日、東京都議会議事堂 1 階に開所した「とちょう保育園」(地域型保育事業(事業所内保育事業)・新宿区認可)を 11 月 10 日に視察訪問。

□ 民間事業者等における地域に開放した事業所内保育所の設置を促進し、待機児童解消を進めるためのシンボリックな取り組み。

都職員の他、地域や近隣企業の子どもを受け入れ、早朝登園する親子への食事提供や紙おむつ提供、衣服洗濯等のサービス、登園後の体調不良への対応など働く保護者を強力に支援する。

視察を終え、那覇市へは、窓口手続きや近隣商業施設での買い物等での一時預かりを含め、ニーズ等を把握し県と連携して検討するよう、提言している。

震災後の熊本視察

震災から約三か月が経つ 7 月 4 日から 6 日、熊本県山鹿市議会の服部香代議員の案内で、現地の様子を見聞させて頂いた。

□ 初日に山鹿市入り、2 日目に南阿蘇、西原村、益城町、崇城大学ボランティアビレッジとまわり、最終日に熊本市、八代市へ。

メディアに載らない状況に触れ、現地を直に見聞きできたことは意義深かった。「阪神・淡路、東北の経験がいかされていない」こと、指揮命令系統の確立、情報の整理、自助共助意識の醸成、日頃からの行政と民間の連携などの課題がうかがえた。

「報道されていない熊本の現状を伝えて。視察を沖縄で活かしてほしい」と服部議員。

得たことを沖縄に、那覇市にいかしていきたい。



益城町



益城中央小学校避難所にて
服部議員(中央)、防災士の稲垣曉氏と

マエミキの1丁目1番地 議会改革 市民とともに歩む議会へ！

地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会



上段：地方議員フォーラム(3月25日都市センターホテル(東京))
下段：研究会の様子

(公財)日本生産性本部が主催する議会活動と地域経営が連動する「政策サイクルと評価モデル」の構築を目指す研究会(顧問：北川正恭早稲田大学名誉教授、座長：江藤俊昭山梨学院大学教授)に、全国のトップランナー議会の皆さんに交じり参加させて頂きました。

議会改革の目的である住民福祉の向上のための政策サイクルはどうあるべきか、アウトカム(質的成果)をどう評価するか等々、議論を重ねてきました。この一年は政策サイクルまで、評価モデルは持越しです。

参加議会：会津若松市議会、飯田市議会、大津市議会、可見市議会、小諸市議会、西脇市議会、那覇市議会、芽室町議会

◆地方議員フォーラム2017

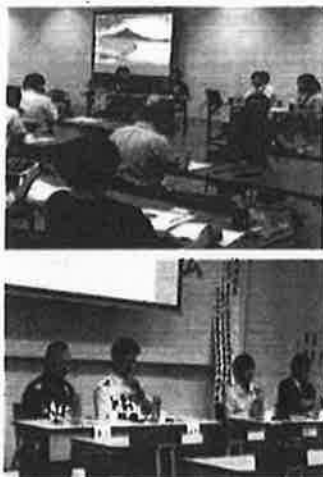
「議会改革の第二ステージ～議会から政策サイクルを回す」
3月25日都市センターホテル(東京)

自治体学会「地方分権で求められる議員像と人材育成」

議論全体として「議員個々の政策能力向上の方向性は見えてきたが、議会としての政治的処方箋が必要」ではないかとの印象。

私は、那覇市議会の経験から「チーム議会」として向上するには、シンプルに『徹底した住民との対話』をあらゆる資源を活用しながら積み重ねていくことが有用ではないか』旨発言したが、やはりこれと言った処方箋の明示はなかなか難しいと感じました。

第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会
分科会8月20日パトリア日田(写真は上)



「議員間討議」で議会活性化シンポ

主催者である NPO 法人公共政策研究所(札幌市)の調査結果を基に、議会が抱える問題として、那覇市議会でも課題となっている「議員間討議」について論じ合いました。

議員間討議に入る前の論点整理、制度設計、議長・委員長の采配、「討議」との名称がよくないのでは、実は議員間討議は行われているが公式の場に載ってないだけ等々、様々な議論が広がりました。

◆議会活性化シンポジウム

～地方議会が「討論のヒロバ」となるためには
11月19日沖縄国際大学(写真は下)

未来フォーラム「若者をつくる政治のカタチ」

高校生の地域課題解決型キャリア教育に議会が取り組む可見市議会の川上文浩議員をお招きし、若者の政治参加について沖縄での実践例も交えたフォーラムを企画開催しました。

前日には、県外からの参加者とともに離島留学制度等に取り組む久米島を視察。島の底力に学びました。



写真上：未来フォーラム1月28日若狭公民館にて
下：大田治雄久米島町長と視察参加の皆さん1月27日

■編集後記■

ざっと見るといつもに増して文字だらけの、今年の瓦版です。あれもこれもと詰めきれないほどの動きがあった一年でした。追加で報告させて頂くと、「早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査2015で那覇市議会が56位に」「平成29年2月定例会で『地方議会議員選挙における法定ピラ頒布を可能とする公職選挙法改正を求める意見書』を全会一致可決、無所属の会初の意見書提案で」等々。一方、質問も数が多い割には内容が薄く猛省。「最もそこそこ質高く」活動のクオリティを上げるのが今年の課題です。前向きに、直向きに。

皆様からの日頃のご指導・ご支援に感謝を込めて
那覇市議会議員 前泊美紀

資料購入費

新 聞 代

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

沖縄建設新聞購読料領収書

前泊 美紀

殿

2017 年 03 月 03 日

振込金額	¥32,400
------	---------

2017/04/01~2018/03/31	30,000
消費税額	2,400
合計	32,400

※上記金額領収致しました。

振込口座番号



株式会社 沖縄建設新聞
沖縄県那覇市泊3-5-6 TEL(代表)098-867-1290



領収日付印



ご注意 銀行の領収印なきものは無効です。

※取扱店 ↓ 振込人宛交付

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

コピー（原本はH28年度収支報告書に添付）

領 収 証

No. [Redacted]

前泊 美紀

殿 [Redacted]

¥ 90,720



但し 日経グローバル 年間購読代金として
(2016年11月7日号より 24冊)
上記の金額正に領収いたしました

2016年 12月 16日

港区白金 1-17-3

株式会社 日経BPマーケティング



扱 印



H29年4月～10月分 52,920円充当（毎月2冊×7カ月分）

領 収 証

No. [Redacted]

前泊 美紀

殿 [Redacted]

¥ 90,720

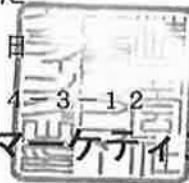


但し 日経グローバル 年間購読代金として
(2017年11月～2018年10月)
上記の金額正に領収いたしました

2017年 12月 12日

東京都港区虎ノ門 4-3-12

株式会社 日経BPマーケティング



扱 印



H29年11月～3月分 37,800円充当（毎月2冊×5カ月分）

按分率

%

2枚

充当額 90,720 円

代 籍 書

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

前泊 美紀

様

No. _____

★ ¥7,000-

但 2016年版・2017年版 包括外部監査の通信等代

2017年 9 月 17 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内
チサンマンション丸の内第2

全国市民オンブズマン連絡

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

平成 29 年度

議員名

前泊 美紀

整理番号

2

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収書+資料明細

別紙添付

1枚

充当額

7,452 円

amazon.co.jp

注文番号 [REDACTED] の領収書(再発行)

このページを印刷してご利用ください。

前泊美紀 様

再発行日: 2018年4月9日

注文日: 2018年2月3日

Amazon.co.jp 注文番号: [REDACTED]

ご請求額: ¥ 7,452

2018年2月4日に発送済み

注文商品	価格
1点 まちづくりの法律がわかる本, 坂和 章平 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 2,700
コンディション: 新品	
1点 都市計画とまちづくりがわかる本, 雅春, 伊藤 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 2,592
コンディション: 新品	

お届け先住所:
前泊美紀
[REDACTED]商品の小計: ¥ 5,292
配送料・手数料: ¥ 233注文合計: ¥ 5,525
割引: -¥ 233配送方法:
通常配送

この配送分のご請求額: ¥ 5,292

2018年2月6日に発送済み

注文商品	価格
1点 いちからわかる知識&雑学シリーズ 都市計画のキホン, 佐々木 晶二 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 2,160
コンディション: 新品	

お届け先住所:
前泊美紀
[REDACTED]商品の小計: ¥ 2,160
配送料・手数料: ¥ 117注文合計: ¥ 2,277
割引: -¥ 117配送方法:
通常配送

この配送分のご請求額: ¥ 2,160

支払い情報

支払い方法:
Visa | カード番号の一部: [REDACTED]商品の小計: ¥ 7,452
配送料・手数料: ¥ 350請求先住所:
前泊美紀
[REDACTED]注文合計: ¥ 7,802
割引: -¥ 350

[REDACTED]

ご請求額: ¥ 7,452

クレジットカードへの請求

[REDACTED]: 2018年2月4日: ¥ 5,292
[REDACTED]: 2018年2月6日: ¥ 2,160

注文の状況を確認するには、[注文内容](#)をご覧ください。

[利用規約](#) | [プライバシー規約](#) ©1996-2017, Amazon.com, Inc. and its affiliates

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

amazon.co.jp

注文番号 [REDACTED] の領収書(再発行)

このページを印刷してご利用ください。

再発行日: 2018年3月11日

注文日: 2018年2月3日

Amazon.co.jp 注文番号: [REDACTED]

ご請求額: ¥ 7,776

前泊 美紀 様

2018年2月6日に発送済み

注文商品

価格

1 点 公会計が自治体を変える! Part3-財務データの分析は行政改革の突破口, 宮澤 正泰 ¥ 2,916
 販売: Amazon Japan G.K.

コンディション: 新品

1 点 公会計が自治体を変える! Part2-単式簿記から複式簿記へ, 宮澤正泰 ¥ 2,916
 販売: Amazon Japan G.K.

コンディション: 新品

1 点 公会計が自治体を変える! -バランスシートで健康チェック, 宮澤正泰 ¥ 1,944
 販売: Amazon Japan G.K.

コンディション: 新品

お届け先住所:
前泊美紀

商品の小計: ¥ 7,776
配送料・手数料: ¥ 350

注文合計: ¥ 8,126
割引: -¥ 350

配送方法:
通常配送

この配送分のご請求額: ¥ 7,776

支払い情報

支払い方法:
Visa | カード番号の一部: [REDACTED]

商品の小計: ¥ 7,776
配送料・手数料: ¥ 350

請求先住所:
前泊美紀

注文合計: ¥ 8,126
割引: -¥ 350

ご請求額: ¥ 7,776

クレジットカードへの請求

[REDACTED]: 2018年2月6日: ¥ 7,776

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

前泊 美紀 様

(お客様No. [redacted])

G NO [redacted]

平成 29 年 6 月 13 日

¥4,452.-

収 入
印 紙

内 訳

書 名 (品 名)	号 数	数 量	単 価	金 額
追録代とL7				4 452
計				¥4 452

上記の通り領収致しました。(消費税が含まれております)



新日本法規出版株式会社

〒810-8663 福岡市中央区大手門三丁目3番13号
TEL (092) 771-0866 (代表)



社員コード

[redacted]

取扱者印



※金額を訂正したものと及び取扱者印の無きものは無効です。

52号

請求書別紙参照

ご納本NO. [REDACTED]

29年 5月 18日

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

書籍名	追録号数	数量	単価	金額	摘要
社会生活六法手続・書式編	52 ✓	1	4452	4452	
合計金額				4452	(税込)



前泊 美紀 様



お客様NO [REDACTED]

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長 服部 昭



〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード [REDACTED]

添付書類

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

G No. [REDACTED]
平成 29 年 8 月 8 日

前泊 美紀 様
(お客様No. [REDACTED])


¥8,761.-

収 入
印 紙

内 訳

書 名 (品 名)	号数	数量	単 価	金 額
追録代として	6D(15)(6)			8,761
計				¥8,761

上記の通り領収致しました。(消費税が含まれております)

 新日本法規出版株式会社

〒810-8663 福岡市中央区大手門三丁目3番13号
TEL (092) 771-0366 (代表)

社員コード [REDACTED]

取扱者印 


※金額を訂正したものと及び取扱者印の無きものは無効です。

私込愛領証 (092)771-0366 (代表)

払込人氏名 前泊 美紀 様

金額 3,714円

受取人 新日本法規出版株式会社

受領印 

お客様印


61号

私込愛領証 (092)771-0366 (代表)

払込人氏名 前泊 美紀 様

金額 5,047円

受取人 新日本法規出版株式会社

受領印 

お客様印

添付書類参照

15.16号

1 枚

充当額

8,761 円

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

ご納本NO. [Redacted]

請求書

29年 8月 23日

下記のとおりご請求申しあげます

書籍名	追録号数	数量	単価	金額	摘要
誰にもわかる社会生活六法-法律相談Q & A-	62 ✓	1	3488	3488	
合計金額				3488	(税込)



前泊 美紀 様



お客様NO [Redacted]

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長 服部 昭



〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード [Redacted]

払込受領証
 新日本法規出版株式会社
 前泊 美紀
 金額 3,488円
 受領人 新日本法規出版株式会社
 受領印
 1/9/15
 公券発控

1 枚

充当額

3,488 円

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

ご納本NO. [Redacted]

請求書

29年 9月 22日

下記のとおりご請求申しあげます

書籍名	追録号数	数量	単価	金額	摘要
社会生活六法手続・書式編	53 ✓	1	3,652	3,652	
				合計金額	3,652 (税込)



前泊 美紀 様



お客様No [Redacted]

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長 服部 昭



〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード [Redacted]

 収入印紙貼付欄 受領日 2017.09.22 お客様印	受取人 新日本法規出版株式会社	金額 3,652円	払込人氏名 前泊 美紀	払込受領証 (シリアルナンバー付)
---------------------------------------	--------------------	--------------	----------------	----------------------

1 枚

充当額

3,652 円

【項目】

調査研究費

研修費

広報費

広聴費

要請・陳情活動費

会議費

資料作成費

資料購入費

人件費

事務所費

払込受領証
コンビニエンスストア用

払込人氏名
前泊 美紀

様

金額
5,662円

受取人
新日本法規出版株式会社

受領印
収入印紙貼付欄
受領日附印

お客様控

4,5号

払込受領証
コンビニエンスストア用

払込人氏名
前泊 美紀

様

金額
3,426円

受取人
新日本法規出版株式会社

受領印
収入印紙貼付欄
受領日附印

お客様控

63号

添付書類参照

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費


払込受領証
(コンビニエンスストア用)

払込人氏名
 前泊 美紀

様

金額
 6,443円

受取人
 新日本法規出版株式会社

受領印


お客様控え

17号, 18号

添付書類参照

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

ご納本NO. [Redacted]

30年 2月 15日

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

書 籍 名	追録号数	数量	単 価	金 額	摘 要
社会生活六法手続・書式編	54	1	2544	2544	
	55	1	2441	2441	
合計金額				4985	(税込)



前泊 美紀 様



お客様No [Redacted]

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役部長 服部 昭



〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード [Redacted]

払込票 領証

払込人氏名 前泊 美紀 様

金額 4,985円

受取人 新日本法規出版株式会社

18,328

17,083.9

18,328

平成 30 年 4 月 15 日

前泊 美紀 様

新日本法規出版株式会社

代表取締役 服部 昭

〒460-8455
名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話(092)771-0866

お客様№ [Redacted]

取引銀行 [Redacted]

¥ 40,869.-

下記内訳のとおりご納品申しあげます。

コード	商 品 名	号数・分類	数 量	単 価	金 額	摘 要
344	誰にもわかる社会生活六法—法律相談Q & A—	61 ✓	1	3714	3714	
	〃	62 ✓	1	3488	3488	
	〃	63 ✓	1	3426	3426	
437	社会生活六法手続・書式編	52 ✓	1	4452	4452	
	〃	53 ✓	1	3652	3652	
	〃	54 ✓	1	2544	2544	
	〃	55 ✓	1	2441	2441	
605	Q&A 子どもをめぐる法律相談	15 ✓	1	2503	2503	
	〃	16 ✓	1	2544	2544	
	〃	17 ✓	1	3242	3242	
	〃	18 ✓	1	3201	3201	
619	離婚事件処理の実務—Q&Aと給付事例—	4 ✓	1	2872	2872	
	〃	5 ✓	1	2790	2790	
合 計					40869	(税込) ✓

備品管理台帳

備品管理台帳

会派または議員名 前泊 美紀

番号	名称・型番	購入金額 (充当額)	購入日	耐用 年数	監理責任 保管場所	廃棄・譲渡日 理由	備考
1	パソコン Pavilion15-n200スタンダードモデル F7Q55PA#ABJ	71,064円 (7,106円)	H26.5.26	4	なはの翼f協働/無所属の会/維新・無所属の会 那覇市役所4階		複数会派の共有物として購入。
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							